

海老名市民のための福祉情報を発信!

(中心会高齢部門チャンネル)

(配布協力: 海老名市自治会連絡協議会)



サービス付き高齢者向け住宅とは?



皆さんは「**高齢者は賃貸物件を借りにくい**」と聞いたことがありますか?

家賃未回収や、自宅で亡くなり事故物件になるリスクが高いのが理由と言われています。

1 人暮らしや高齢者のみの世帯が増え、自宅での生活を不安視する声も多くある中、サービス付き高齢者向け住宅は、2011年の「高齢者の居住の安定確保に関する法律(高齢者住まい法)」の改正により創設されました。それまでも似たような住宅はありましたが、設備やサービス内容のバラつきが大きいといった課題があり、この改正を機に明確な基準を設けられ、都道府県への登録制になりました。

入居者は、安否確認と生活相談のサービスを受けながら、一般的な賃貸住宅と同じような生活を送ることができ、**自由度の高い暮らし**を楽しめます。

介護が必要になったら、併設や外部の介護サービスと契約し利用することができますが、寝たきり等により介護量が増えると利用金額も増え、家賃と合わせると、介護付きの施設より**月額の出費が高くなる**可能性も出てきます。



海老名市内のサービス付き高齢者向け住宅

- ・コミュニティケアおおや(大谷南)
- ・フロンテヌ海老名門沢橋(門沢橋)
- ・カサボニータ海老名(今里)
- ・ふるさとホーム海老名(杉久保北)
- ・ココファン海老名(泉)



Contents

- [1] 社会福祉法人 中心会
- [2][3] 中心荘
- [4][5] えびな南
- [6][7] えびな北
- [8] 法人総務部

お知らせ

バックナンバーの掲載開始!

2024年8月1日発行(No.33)の「えびな福祉 News」から、バックナンバーの掲載を開始しました。右記のQRコードより、ご覧いただけます。(<https://chusinkai.net/news/121172-2/>)



中心荘だより

〒243-0431 海老名市上今泉4-7-1
社会福祉法人 中心会
中心荘第一・第二老人ホーム
☎ 046(231)7152
所長 三浦正光

食事介助 の基本



食事介助は、要介護者が安全に食事を楽しむために重要なケアであり、基本的な姿勢や手順、注意点を理解することが大切です。



事前準備

- 食事前に利用者の体調を確認し、手洗いや口腔ケアを行います。食事に集中できる環境を整えることも重要です。
- 食器の配置は要介護者が見やすい位置に配置し、温度も確認します。



正しい姿勢

- 要介護者は安楽で誤嚥リスクの少ない姿勢で座ることが望ましいです。足が床に接地し、体が左右に傾いていないことを確認します。
- 椅子を使用する場合は、フットサポートを使用するなど足を床につけるようにします。



食事介助

- スプーンを使う際は、水平に口に入れ、口唇を閉じたら水平に抜きます。一回の量はティースプーン1杯程度が適切です。
- 利用者がしっかりと嚥下したことを確認してから、次の一口を運びます。



誤嚥防止

- 食事時の「ムセ」は誤嚥のサインであり、注意深く観察することが重要です。嚥下の動きを確認し、次の一口を運ぶタイミングを見極めます。
- 食事中は利用者がリラックスできるように声を掛け、安心感を与えることも大切です。



**** 食事介助の重要性 ****

食事介助は単に食べ物を口に運ぶだけでなく、利用者の尊厳を保ちながら、栄養摂取を確保し、生活の質を向上させるための重要なケアです。適切な介助は、誤嚥性肺炎などの合併症を予防し、社会的交流の機会を提供します。





茹でたうどんにあげ玉や刻み葱など、好きな具材をトッピングしてもらい、皆様で楽しく召し上がりました。



流しそうめんを行いました。本格的に、半分に切った竹を樋にして、流れるそうめんを上手にすくってわいわいと盛り上がりました。竹はわざわざ送迎車のドライバーさんが、新鮮なものを竹林から切り取ってきてくれました。



**2025年
中心荘第二老人ホーム
デイサービス恒例の
調理レクリエーション
を行いました**

認知症の方でも、簡単に調理ができるメニューを考え、安全に皆様に参加してもらっています。年末には、クリスマスケーキや餅つきも予定しています。



さつまいもを茹でて、マッシュポテトのようにつぶして、砂糖を加えるだけで、自然な甘さのスイーツを作っていました。



ホットケーキミックスを使い、あんこを包んで、どら焼き風のお菓子を作りました。



**温かい 御支援 御協力
ありがとうございました**



- ご寄付 【2025年9月～11月】 [敬称略] [順不同]
 <お金の部> 佐藤 千枝子
 <物品の部> 有限会社 ディ・アイ・シー アダム&イヴ 中心荘の『募金箱』 5,728円
- ボランティア 【2025年9月～11月】
 佐藤 千恵子・岡崎 利行・金子 秀男・藤崎 由子・島岡 幸子・今 久美子
 田澤 喜三代・田村 イノエ・江原 桂子・ガールスカウト 57 団
 アップルミント・カトリック厚木教会・座間おはなしキャラバン

* 多くの皆様にボランティア活動していただき、ありがとうございます。

編集後記

- 2月は他の月より日数が短いです。
- その理由は、古代ローマ時代まで遡ります。
- 当時の暦は一年が355日で、3月始まりであったことから、最後の月となる2月にしわ寄せがいき、2月は28日となったそうです。
- 現在、世界各国で使われているグレゴリオ暦にも引き継がれ、さらに地球の公転周期とのズレを調整するため、4年に一度「うるう年」が設けられています。次のうるう年は2028年です。(宮本)



高齢者施設だより

地域包括支援センターの活動



みなさんは「**認知症**」と聞くとどんなイメージを持ちますか？「新しい事を忘れて古い事は覚えている」「家が分からなくて外出先から帰ってこれない」「身の回りの事が出来なくなって困ってしまう」というイメージでしょうか。

一口に「**認知症**」といっても、症状の現れ方は人それぞれです。記憶することが苦手になりますが、何もできなくなるわけではありません。今まで通りできることもありますし、新しくやってみたいこともある『**いままでと同じその人**』です。



『**地域包括支援センター**』では認知症のご本人・ご家族・近隣にお住まいの方のご相談をお受けする事はもちろん、その方達を支えるために地域のつながり作り等の普及啓発をしています。

● 家庭介護者教室 報告

11月18日(火) 認知症の方を介護する方の交流会
「わたしらしく生きる認知症ネットワーク」

代表理事 佐藤麗子さんから お母様が認知症と診断されるまでと、されてからの心の動きをお話していただいた後、参加者の方々にもお話しいただきました。

「話すこと」は「放すこと」
話しても話さなくてもいいよ
という講師の優しい言葉に
日頃の想いを口にして自身の
気持ちを振り返る会となりました。



● 認知症サポーター養成講座 報告 11月28日(金)

有馬小学校4年生の生徒さんに「認知症ってどういう病気なの？ どうやってサポートするといいの？」という事を勉強してもらいました。

正しく知る人が増えることで認知症になってからもさりげないサポートが受けられ、地域での生活が続けられる、そんな地域をめざしていきたいと思います。



【お知らせ】

● オレンジカフェ

毎月第2水曜日 10:00～11:00

場所：グループホームえがお 門沢橋駅徒歩1分 参加費無料 予約なし

認知症の方や認知症を支えるご家族の方が情報交換を行う会です。



2025年度 顧客満足アンケートの実施 【養護老人ホーム】 ご利用者 39名回答

私たちはサービスの質の向上に取り組むため、「品質マネジメントシステム」を活用しています。私たちのサービスについて、ご利用者・ご家族様が満足されているかどうかをアンケート方式でお伺いし、その結果から得た課題を改善活動に繋げる取組みを行っています。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。一部ですがご紹介いたします。なお、全体のアンケート内容についてはホームページに掲載する予定です。

***ご利用者自身がゴミを分別して捨てることができるようにご案内をしてきました。ゴミの分別がしやすい環境を整えられるよう、現状についてご利用者に伺うことにしました。**

Q1. ゴミの捨て方についてお伺いします。

燃えるゴミ、プラスチック、カン、ビン、ペットボトルに分けて捨てていますか？



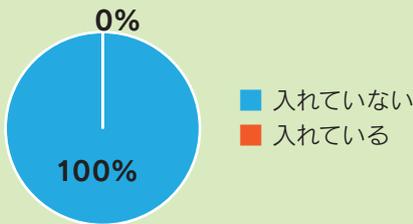
Q2. 分けて捨てていない理由をお聞きします。

※複数回答有り

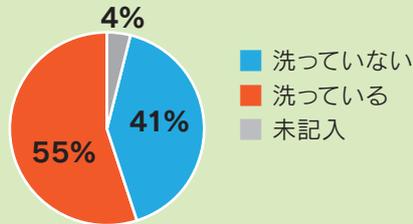


Q3. 分けて捨てている人にお伺いします。

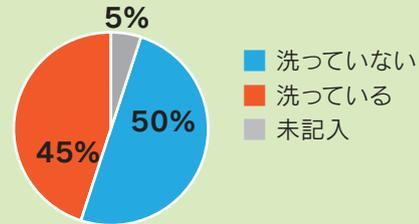
1) 燃えるゴミにプラスチックゴミを入れていませんか？



2) プラスチック容器は洗っていますか？



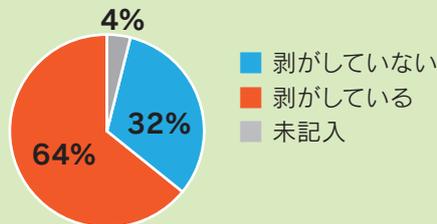
3) カン・ペットボトルは洗っていますか？



<その他の意見>

- ・職員が行っている。
- ・プラスチックが分からない。
- ・協力したいという気持ちはある。
- ・自身で購入して、飲んだり食べたりしていない。

Q4. ペットボトルのラベルは剥がして捨てていますか？



<アンケート結果より>

- ・ゴミ分別の協力のアナウンスやポスターの作成していきます。
- ・また、勉強会を開催をすることや、分かりやすい表示を作成するなど取り組んでいきます。

ご意見・ご要望について

[2025年9月～2025年11月]

*ケアコールで呼んだが、職員の到着が遅れてトイレが間に合わなかった。対応した職員が言い訳を述べてきたので不快な思いをした。(ご利用者本人より)

→まずは謝罪し、どんな理由であっても言い訳から入らないということを職員間で周知しました。

ご支援 ご協力 感謝申し上げます

ご寄付

2025年9月～2025年11月 (敬称略) (順不同)

〈お金の部〉 大矢 佐知子 えびな南「募金箱」43,349円
 〈品物の部〉 川村 宏・田村 伸子・日産神奈川販売株式会社
 濱田 裕・小田急商業労働組合連合会 会長 伊藤 清太

ボランティア

五十嵐富男・石井邦子・井手美津江
 二歩宗俊・溝畑晶子・中居協子・野内京子・大貫文子・中澤和子
 斉藤良子・大矢佐知子・木越櫻子・はなみすき

高齢者施設だより



焼き芋 レクリエーション を開催しました!

そして当日は、みんなで落ち葉の周りにスタンバイ。
火ばさみを使って、落ち葉の中から焼き芋を探して
もらいます。

11月30日に焼き芋レクリエーション
を行いました!

まずは準備から…美味しい焼き芋を食べ
るために、落ち葉集めに行ってきました。
外もきれいになり、一石二鳥♪



ん?
ここにあり
そうかな?



と、大きな焼き芋ゲット!



とても嬉しそうな表情!



頑張っ!



順番を待っている方も、焼き芋を探している方に「頑張っ!」と応援してくれて、和やかな
雰囲気の中、楽しい時間を過ごしました。

焼き芋とっても美味しかったですね♪

えびな北デイサービスで毎年恒例

秋の大運動会を開催いたしました！

今年の運動会では

紅白鈴割り対決

玉入れ合戦

応援合戦

を行い、
とても盛り上がりを見せました。

ご利用者の皆様チーム一丸となってお互いに協力し合い接戦の結果は赤組が優勝しました！

ご利用者の皆様、勝ち負け関係なく皆様とても笑顔で楽しんでいました。

来年の開催が
とても楽しみです！



●ご利用者様からのご意見・ご要望 (2025年9月~11月) ・特になし

◆いつもえびな北高齢者施設を支えて下さり、ありがとうございます◆

2025年 9月~11月 (敬称略) (順不同)

◆ご寄付

《品物の部》

信太 美和子

森岡 富美代

えびな北「募金箱」7,529円

◆ボランティア

大橋 明 (将棋)

安田 洋美、小島トミ子、佐々木結子

原恵子、かけはし (傾聴)

レイモミマカマエ (フラダンス)

川田 茂雄 (ピアノ演奏)

夢なでしこ会 (民謡・踊り)

高木 久子 (短歌)

村田 悦子 (シーツ交換)

花みずき (大正琴演奏)

かながわ

ライフサポート事業

～生活SOS～

～頼みの綱がここにあります。

～あなたの今をサポートします。～

ライフサポート事業は、相談者様のご事情を伺ったうえで生活再建のお手伝いをいたします。お困りことがあればまずはご連絡くださいませ。

「かながわライフサポート事業」は神奈川県内にある社会福祉法人が取り組んでいる事業です。訪問・相談を通じて必要な制度につなぐ活動を行い、緊急を要する場合は、食材の提供といった現物支給による生活支援もいたします

相談例：57歳ご夫婦と35歳息子様

○多重債務により自宅を強制退去となってしまう、相談がある。

⇒ 宿舎と食料の提供をする。



ライフサポート事業
の問合せ

▶ えびな北高齢者施設:担当 佐藤・瀧平
TEL. 046-231-5888

▶ えびな南高齢者施設:担当 八巻・松下・三浦・見渡
TEL. 046-238-7681

小田急商業労働組合連合会様より車椅子の寄贈



小田急商業労働組合連合会様より、同組合様の「OCU社会貢献事業」として、「車椅子」2台の贈呈を受けました。これは、2009年度より小田急商業労働組合連合会の皆様が社会・地域・企業への貢献に繋がる活動をされている中で、中心会事業所にご協力いただいているものです。

小田急商業労働組合連合会会員の皆様に心より感謝申し上げます。えびな南高齢者施設にて大切に使用させていただきます。



2025年10月28日 えびな南高齢者施設に、伊藤会長、内田事務局長が訪問され、車椅子の引き渡しが行われました。

小田急商業労働組合連合会会員の皆様に心より感謝申し上げます。えびな南高齢者施設にて大切に使用させていただきます。

ユニバーサル就労支援(UW)事業のご案内

「働きたいけれど働けずにいる方」のためのユニバーサル就労支援(UW)にはあいかわらず多くのご相談をいただいています。どのようなスケジュールでどのような支援を行うかは、お一人お一人のご希望やご事情に合わせて決めています。まずはじっくりお話を伺います。お気軽にご相談にいらしてみてください。

●●● 最近の相談例 ●●●

● 40代Aさん これまでいくつかの仕事をしてきたが、うまくいなくて辞めた。人と話すことは好きなのだが、なぜか浮いてしまい、溶け込めない。そのため人間関係に苦手意識が出てきていた。年齢が上がり、なかなか次の仕事が決まらず困っている。
⇒ UWで職場実習(※)と面談を繰り返し行い、経験を積んだ。製造業のアルバイトに就職でき、現在、正社員登用を目指してがんばっている。

● 20代Bさん 高校を卒業したとき、やりたいことがわからなかった。とりあえず専門学校に行ったが、やりたいことではないと感じ、中退してしまった。
⇒ UWで職場実習(※)を行い、自分の得意なこと、不得意なことが確認できた。職場からも評価をもらって、やりたいことがみえてきた。目標ができ、職業訓練校に通い始めた。

※ UW実習は、ご希望の方に職場での体験・トレーニングを行うものです。その方に合わせて内容やスケジュールを決めています。

◆ ユニバーサル就労支援事務局 担当：伊藤 ◆

TEL. 046-238-7681

<https://chusinkai.net/universal/>
E-mail:uw@chusinkai.jp



社会福祉法人中心会で運営している高齢者施設4事業所・児童養護施設2事業所では、皆様からの寄付を募っています。

寄付のお願い



老朽化した施設の建て替え資金が必要です。ご理解とご協力をお願いいたします。ご寄付をご検討いただいている方は、法人総務部へご連絡をお願いいたします。直接、銀行口座からお振込みいただくことも可能です。

中心会法人総務部 電話：046-206-4427